



フィールド サービス ニュース

富士重工業株式会社

本社：東京都新宿区
西新宿1-7-2
(スバルビル)

FAN-035

発行 49年4月24日

—FA-200操縦系統コントロール・ケーブル張力定時点検について—

一般に航空機に使用されている操縦索の張力は、新製時正規調整されても、ある程度使用するにつれて、ケーブルの若干の伸び、気温変化、機体のなじみ等が相合し、弛む傾向にあります。

FA-200の操縦系統の場合、その傾向はエルロン系統に一番多く、エレベーター、ラダーの順に変化しています。

これら操縦系統ケーブルの点検は100時間毎、500時間、1000時間点検時実施するようになっていますが、これを最初の25時間飛行及び50時間点検時実施する事をお奨め致します。なお、ケーブル・テンションの調整はそれぞれ、サービス・マニュアル項目、8-2-3「エルロン系統の調整」、8-3-3「フラップ系統の調整」、8-4-3「ラダー系統の調整」、8-5-3「エレベーター系統の調整」、及び8-6-3「エレベーター・トリムタブ系統の調整」を参照して下さい。